高等教育機関の協働による地域で働くことを
テーマにした初年次教育プログラムの開発

牧野治敏

はじめに

本プログラムは、「地・知」の視点研究による地方創生事業」の目的に基づいて、連携校の8大学と、関係する企業や自治体と協働して開発し、平成29年より開講した授業科目「初年次地域キャリアデザインワークショップ」に関するものである。

授業の概要

本授業では、異なる大学や学部の学生が地方地域での就職意識を醸成することをテーマとして学ぶ中で、キャリアデザインする能力の育成を目的とした。この科目の開発では、企業等に検討した「地域キャリアデザイン」をベースに、初年次教育としての位置づけから、キャリアデザインだけでなく、大学での学び方の見直し、グループワーク、コミュニケーション能力の開発、eラーニング、ポートフォリオによる学修の省察などを取り入れた。さらに地方創生のためのキャリア教育で育む資質基盤に社会・企業に向けたコンプラクスに実証的に行っているものである。これにより、大学での学び方が地方の求める人材像の理解を促し、さらに就職や就業力の育成を図るとともに、実務への取り組みをも促す活動としている。

授業の構成

複数の大学からの授業に対応するため、本授業はeラーニングと集中講義で以下のように構成した。（○数字は授業のコマ）。
①各大学等で、授業の目的や内容、ポートフォリオ「学びの足跡」への記載方法、eラーニングでの動画視聴、コメント入力等へのガイダンス。
②③④動画視聴により、地方での就職の魅力、地域社会の視点を学ぶ中で、大学での学び方を省察し、グループの学習を通じて社会人としての視点を育成する。
⑤～⑧（第1回合宿学習）地域キャリアデザインワークショップに参加し、地域内の企業等との意見交換と学習を経て学びの足跡を記録する。
⑨～⑫（第2回合宿学習）グループ討議に若手社会人を交えて、地方での就職したあるそのために大学での学び方を掘り下げ。
⑬～⑭（第3回合宿学習）グループによるプレゼンテーション。大学での就職や、大学での学びについて意見交換と省察。

授業改善

平成29年度の授業では15コマの構成を最終到達目標が不明確であったという事後評価を受け、「授業過程」（教科書）を作成し学修の過程を明確にした。また、「学びの足跡」（学修ノート）を改善し、学修の省察や、自己評価項目を整理した。

授業の成果

以下の3観点から、成果を考察した。

大学教育における成果担当教員の協同による教育改善、授業改善ができた。学生による自己評価では、表のように授業改善の効果が見られた。

表：学生自身の自己評価（4点満点と100点換算）

<table>
<thead>
<tr>
<th>表</th>
<th>平成23年度（10名）</th>
<th>平成24年度（12名）</th>
<th>平成25年度（15名）</th>
<th>平成26年度（12名）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>社会人基礎力の育成</td>
<td>3.2（80）</td>
<td>3.5（87.5）</td>
<td>3.8（92.5）</td>
<td>3.5（87.5）</td>
</tr>
<tr>
<td>前後を考慮する能力</td>
<td>3.4（83）</td>
<td>3.5（87.5）</td>
<td>3.6（94.5）</td>
<td>3.5（87.5）</td>
</tr>
<tr>
<td>等級別有無</td>
<td>3.1（62）</td>
<td>3.6（88）</td>
<td>3.7（95）</td>
<td>3.5（87.5）</td>
</tr>
<tr>
<td>実績目標達成度</td>
<td>3.2（64）</td>
<td>3.4（85）</td>
<td>3.5（87.5）</td>
<td>3.4（85）</td>
</tr>
<tr>
<td>学習に関する評価</td>
<td>3.0（60）</td>
<td>3.0（60）</td>
<td>3.1（64）</td>
<td>3.1（64）</td>
</tr>
</tbody>
</table>

学生への成果学生間でのグループ討議や意見交換、社会人からのアドバイス等により、就業や人生設計の観点から大学で学ぶ意義を学ぶことができる。

企業等への成果大学教育に関わることで「働くことと学ぶこと」への再認識の機会となった。

謝辞

地域科学研究所、大分ベンチャーキャピタル、太陽の家、大分県庁からご協力をいただきました。ここに感謝の意を表します。

参考文献

社会人基礎力−育成の手引き−河合塾、経済産業省、2010
中川忠宣、インターナショナル授業の展開と社会人基礎力−育成への効果−生活体験学習研究
Vol.15, pp. 19-28, 2015